

<別紙> 委員の主な意見

- 【委員】・輸入は関西電力や木材が大きい、輸出は造船が好調である。
・何をこれから貨物として伸ばすのかはビジョンが必要、港湾へのニーズが5年、10年後どうなっていくのか？
事務局回答 検討の中で5年程度でのステップ等を示せたらと考えている。明確なビジョンを示せばいいのだが、最近では木材が減ってきており、木材とともに今後、どのような貨物を扱っていくのか転換期にきている。
- 【委員】・物流の観点で言うと高速道路（京都縦貫道）が問題である。
・北朝鮮船の船の係留時間が長く公共岸壁が効率化されていない。
・現在は、西に外貿、東に内貿となっているが東港に外貿を入れるのか入れないのか検討が必要である。
・また、東港の背後の工場等の貨物が西港に揚げ横持ちしている現状に対して検討が必要である。
- 【委員】・北東アジアとの連携が必要と考えるが、課題は、
人の流れをいかにつくるか。京都の観光資源をうまくミックス、パッケージして中国韓国から人を呼べるか
輸出をどうやって増やすか、輸出と輸入のバランスが悪い。中小企業の精密な品物等を舞鶴から出せば、という点でコーディネートする商社企業をどう誘致するか。
- 【委員】・舞鶴港地域の良さをもう一度見直す必要がある。
- 【委員】・物流の観点で京都市が貨物の出入りをどこを見ているか、京都市が京都府と一緒に舞鶴を考えないと難しい。
- 【委員】・新しい貨物も大切だが、木材等を扱っている従前からのお客にもサービスが必要。
- 【委員】・平成8年策定の港湾計画目標値との乖離の大きな要因はフェリーである。しかし、フェリーは年間10万人運んでいる。最近、意外にも名古屋方面の客が舞鶴から乗ってくれている、旅の風情を醸し出しているのは敦賀よりも舞鶴だという意見もある。
- 【委員】・舞鶴港は静穏度は高い。
・京都に海があることを全国からは知らない。
・個人的には西舞鶴の古い街並みを気に入っている。
- 【委員】・東港西港のゾーニングが必要である。
1つは背後の町の景観を考慮したゾーニングをどうするか
1つは将来の貨物利用の観点でゾーニングをどうするか
・舞鶴とアジアの結びつきを強くすることが重要。
- 【委員】・京都舞鶴港としてのブランドを売っていかないといけない。
・外貿は西、内貿は東の概念を取り払いたい。
・リサイクルポートについても取り組みたいので助力願いたい。
- 【委員】・港湾は、どう活用するかを見据える時代に入ってきており、ソフトが極めて重要であり、ハードソフトの両面から考えてもらいたい。